



## 心のアクセルとブレーキの整備・点検を

教頭 藤本 哲也

世界3大レースのひとつとされる米国伝統の自動車レース、第101回インディアナポリス500マイル(インディ500)の決勝が5月28日に行われ、佐藤琢磨選手が日本人初優勝の歴史的快挙を成し遂げたことを、各メディアが大々的に報じました。1周約4kmのコースを平均時速350km/h以上で200周します。最高速度は380km/hにも達するといえます。



自動車がどれだけの最高速度を出せるのかはエンジン性能にかかっていると思われがちですが、実はブレーキ性能が決め手であることが多いそうです。いくらエンジン性能がよくても、ブレーキ性能が悪いと、いざというときに速度を落とせず危険なので、エンジン性能マックスまでのスピードを出すことができないからです。ブレーキで制御できる確信があるからこそ、アクセルを思い切って踏み込むことができるのです。

このことは、人にも当てはまります。能力や才能を伸ばすためには、「心のエンジン(アクセル)」を全開にする力とともに、「心のブレーキ」を効かせる力が必要です。

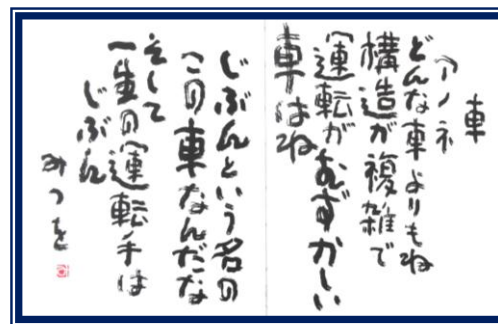
本校のキャッチフレーズ「明日の自分にワクワクしよう」は、「新しい自分づくりへの挑戦」を意味しています。ここで重要なのは、「新しい自分=変化する方向」を選ぶのは君たち一人一人だということです。変化には、「進歩」「成長」があれば、「退歩」「退行」もあります。

新年度が始まって2カ月が経ちました。大半の生徒が落ち着いた学校生活を送り、好ましい変化に向けて、心のアクセルとブレーキを適切に踏み分けてくれています。うれしいことです。

他方、1年生を中心に、明らかな踏み間違いを犯している者が存在するのも事実です。「欠席、遅刻・中抜け・早退」「校外外での喫煙」「深夜徘徊、たむろ」「公共の場でのゴミの放置」等々を自制すべきブレーキが全く効かないどころか、むしろアクセルペダルを踏み込み、加速しながら高速道路を逆走するかのごとく、周囲に計り知れない迷惑をかけている生徒がいます。悲しいことです。

右は、相田みつをさんの『いのちいっぱい』(ダイヤモンド社)の掲載作品です。本物の車には車検制度があり安心して運転できます。私たちはどうでしょう。

「よりよい自分の在り方生き方を求める心のアクセル」と「怠け心や自分の価値を下げる行為を制御する心のブレーキ」を日々整備・点検することが、「自分という名の車を一生運転するための免許」を取得する条件です。ブレーキ不良の危険な車を運転し続け、取り返しのつかない大事故になる前に、2カ月点検の実施を強く求めます。



## ■平成 29 年度奉仕活動始まる

本年度の奉仕活動が始まりました。奉仕活動は2、3年生の3修制生徒を対象とした学校設定科目です。第1回は5月23日(火)に2年生、26日(金)に3年生が行いました。それぞれ学校周辺道路やJR東加古川駅周辺、近隣住宅地内の公園などに赴き、清掃活動を行いました。周辺のゴミがなくなり綺麗になっただけでなく、さわやかな気持ちで終えることができました。

今後、各学年、年間6回の実施を予定しています。



## ■部活動の結果 (5月開催分)

### 兵庫県高等学校定時制・通信制課程前期総合体育大会 東播磨・淡路地区大会

**サッカー部** (5月27日(土) 於:錦城高校)

優勝 (2-0 対錦城高校)

**卓球部** (5月27日(土) 於:本校)

男子個人戦

優勝 1年

2位 2年

3位 1年

4位 2年

[男子団体戦 本校のみのため実施せず]

女子個人戦 優勝 1年

女子団体戦 優勝



**ソフトテニス部** (5月27日(土) 於:日岡山公園)

男子の部

優勝 3年ペア

2位 3年ペア

女子の部

3位 1年ペア



## ■授業参観・保護者会・就職説明会

日時 平成 29 年 6 月 9 日 (金) 18:20~

場所 兵庫県立農業高等学校(定時制課程)各教室及び会議室

※詳細は各学年からの4月分の月報とともにお知らせ済みです。欠席届を提出された方であっても、出席いただけます。当日の都合がつくようでしたら、ふるってご参加ください。